

## 教育委員の想い

教育委員 梅野 新

私は、今まで PTA の立場で子ども達、教職員の皆様、父母や地域の皆様と接してきました。その中で、我々が子どもだった頃と違い、現在の生活環境は大きく変化し、父母が学校に求めることも多様化しているように感じています。

先生方は、日々多くの仕事を抱えながら、子ども達の対応をしていることを考えると、私自身としては、自分の子ども達が学校生活で大変お世話になっており、先生方には感謝の言葉しかありません。

今、子ども達の情報交換は SNS を使ったやり取りが増えてきており、多くの情報を簡単に知り得ることができる時代となりました。反対に子ども達の情報が、見ず知らずの人にもわかってしまう時代と言えるのでしょうか。

子ども達は、訳も分からず SNS を通じて情報を流してしまうこともあるかもしれません。これは子どもの責任ではなく、我々親の責任であると思っています。子ども達を危険な目に合わせないように、まずは親である我々がしっかりと危機管理を行わなくてはならないのではないのでしょうか。

また SNS などの情報手段が普及してきた反面、人と人との繋がりが少なくなり、子ども同士の協調性も危惧されてきているのではないのでしょうか。

名寄市の未来は子ども達にかかっています。私がそうであるように、多くの子ども達が将来、名寄で生まれ育ったことに誇りを持ち、いつかはこの街に戻りたいと思えるようにしなければならないと思います。そのためには教育委員、学校だけではなく、子どもを持つすべての人々はもちろん、地域の皆様全員で名寄の未来を考えていくことがとても大切です、さらには名寄市民全員の大きなコミュニティで子ども達を支えていく必要があるのです。

学校がやるからそれで良いという考えは捨てて、一人一人が子ども達と名寄の未来を考えられるように、少しずつ我々大人も時代の変化に対応し、子ども達の手本となるよう努力していくことが、子ども達の成長に繋がっていくのではないかと思います。